

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【食】

1. 都道府県、市町村 沖縄県今帰仁村<sup>なきじんそん</sup>
2. 事業者名 農業生産法人(有)今帰仁アグー
3. 取組みの名称 在来豚による地域興し
4. 取組概要等

概要

農業生産法人(有)今帰仁アグーは、平成15年に沖縄在来豚の純粋種の保存と頭数拡大、民俗文化、食文化を伝統習慣、食育を兼ねて伝達する事、雇用と生きがいを創出し産業化を図る事を目標に代表者を含む10名の出資者により設立した。

厳しい飼育管理の下、優れた在来豚を厳選し繁殖豚と肥育豚の頭数が拡大しつつある。

加工、販売は、他社に委託しているが、経営革新計画を立て、事業活動の促進に邁進し、沖縄県の承認申請を行っている。

沖縄県及び北部の産業祭り、地域のイベントを中心に出店、出展を行い、歯科医師会での食育シンポジウム、北部市町村長会議、北部商工会長会、沖縄県商工会連合会「若い経営者の主張発表会」などでの講演会をはじめ、多くのマスコミの取材に対応している。

琉球在来豚アグー保存会での活動。

沖縄県で行われている、琉球在来豚「アグー」の遺伝的資源の確保・安定供給体制支援事業での活動。

活動の規模

項目	H13	H14	H15	H16	H17
生産量			5	70	150
解説	単位：頭 生産頭数				
売り上げ			173	3815	8844
解説	単位：千円				
来客数			50	200	300
解説	単位：人 見学者、取材、取引業者				
雇用者数			1	1	2
解説	単位：人				
イベント回数			5	20	25
解説	単位：回				
イベント参加者			25	100	125
解説	単位：人				

活用している地域資源

- ・琉球在来豚アグー、琉球在来豚アヨー（家畜）
- ・オリオンビールのビール粕、泡盛のモロミ粕、茶殻、豆腐粕、梅干エキス及び梅干屑（餌）
- ・海草（ナチョーラ）（餌、駆虫）
- ・古豚舎（畜舎）
- ・古老の知恵（食生活、伝統儀礼、家畜の飼養管理方法 等）
- ・沖縄北部の概念（沖縄北部地区は本島の中でもっとも自然が残り、昔の伝統、行事が色濃く残り、沖縄らしさを持っている。その沖縄らしさが、人と地球が持続可能で健康的な関係を共有し、より豊かで快適な空間をつくっているという大まかなとらえ方）。

### 地域活性化のポイント

- ・民族的に確立されたアイデンティティーは、使い方によっては宝になり、武器になり、道具になりうる事を認識する。
- ・信念、意思、情熱、想い入れ、こだわりなどの心理的な事柄と技術、知識、知恵などの科学的な事柄とのバランスが必要になる。
- ・情報と人的繋がりを持って戦略、戦術を組み立て、軌道修正などを判断し、革新性、独自性、協調性、社会運動性、人の持つ概念の理解と利用などの調整が重要である。
- ・世の中で生き残る事は、強い事だけではなく、適応する事、変異する事が重要である。
- ・独自性と独創性、完成度を兼ね備えブランド化を測る。
- ・意思と科学と情報を持って機動力、主張力に繋げる。

### 事業の今後の展開方向

- ・アグーによる種の保存、系統造成。
- ・民族文化・食文化の伝統習慣の継承による村興し。産業化を測るため価値の制御と生産の調整管理をし、商品開発、市場開拓を行い生産効率の充実を測る。
- ・体験学習、生態博物館の実践により、遺伝資源としての重要性、民俗文化資源としての重要性、社会運動性として重要性を今後、具体的に主張するために具現化し、農村起業家の育成組織としても役割を果たす。
- ・小型化のアグーを造成し、医療関係に使用する方向性とアニマル・セラピーとしての活用を考える。
- ・在来豚の、腸が長い等の特性を生かし、地域の未利用資源の利用、排出物を無くする飼養管理を試みる。
- ・認定農業者の認定取得と事業導入による生産基盤の充実。
- ・経営革新計画に係わる承認と加工、流通部門の充実。

